

# ふれあい

2025

7

No.460

牛久愛和総合病院 広報誌



## 眼科 新任のご挨拶

眼科 医長 石田 祥子

2025年4月より眼科医長として赴任しました石田祥子と申します。

私は福島県立医科大学を卒業し、筑波大学附属病院で初期研修後、筑波大学眼科に入局しました。その後、約10年間関連病院である土浦協同病院で勤務してきました。

その間、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症、斜視、弱視、眼外傷など幅広く診断や治療、手術を行ってきました。また、視覚障害者用補装具適合判定医師研修会を受講し、「見えにくい」「まぶしい」「見える範囲が狭くて歩きにくい」など日常生活を送る上で不自由を感じる方向に向けて便利な道具、スマホ・パソコンの設定、相談先の案内などをさせていただいてきました。

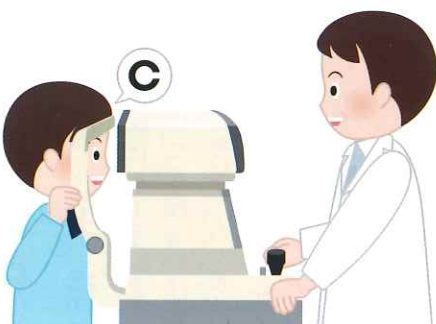
当科では4月より常勤医師2名（私と山下舞伊子医師）、非常勤医師1名（矢部

美香子医師、水曜日）の計3名で診療に当たっております。また、1・2か月に1回、筑波大学の涙道専門の医師と共に、涙道内視鏡による治療も行っています。

手術は白内障手術を主に院（両眼の場合は4泊5日）となつていきます。高齢の方や基礎疾患のある方、透析中の方も安心して手術を受けていただけるように他科の医師と連携して手術を行っています。また、仕事や趣味、スポーツなどのライフスタイルやご希望を考慮して適切な眼内レンズを選び、丁寧な手術を心がけています。的確な診断や治療を行うことはもちろん、分かりやすい説明、来てみてよかった、相談してみてよかったと思っただけのような診療を目指しています。よろしくお願

いいたします。  
現在、ありがたいことに大

変多くの患者様に通院していただいています。しかしながら、医師やスタッフの人数が限られているため、すぐに治療が必要な重症の患者様をお受けするのに時間がかかってしまう状況になってきております。そのため、当院での治療が一段落し、病状が安定している患者様は、ご自宅近くの医療機関にご紹介させていただいております。ご不便をおかけしますが、ご協力をいただけますと幸いです。





## ”専門的（プロフェッショナル）” “口腔ケア

歯科衛生士 副主任 深谷 沙織 / 歯科口腔外科 部長 河地 誉

専門的（プロフェッショナル）口腔ケアとは、口腔を専門とした歯科医師、歯科衛生士が行うもので、①口腔衛生状態の改善（日常的口腔清掃）、②口腔機能の向上（摂食・嚥下機能の回復や構音障害の改善、食支援など）、③歯科疾患の医学的管理（歯科の診査・診断など）等を目的としています。当院では、主に入院患者さんを対象としており、介入時には、全身的な状態、投薬内容、歯牙や歯肉の状態、唾液の性状、嚥下障害の有無、セルフケアの状況などを把握し、口腔内状況から全身状態の改善に努めています。専門的口腔ケアを行うと、強固に付着した口腔内の汚れ（歯石や痂皮等）を取り（写真1、2）、食思の増加により経口摂取ができるようになるなど、患者のQOLの向上に寄与することができま

す。口腔内には、多様な細菌が潜んでおり、放置することで細菌の塊となり、虫歯や歯周炎の原因となります。進行してし

まうと、口腔の炎症状態が悪化し歯を支えている骨を破壊する等、全身状態に影響を及ぼすことがあります。そのため、まずは、ブラッシングによる口腔内の細菌数を減らすことが重要です。しかし、口腔内を自分自身で十分に清掃することは困難です。ブラッシングで取り除くことが困難な汚れを、歯科医師や歯科衛生士が専門の機器を使用して清掃を行うことを「専門的機械的歯面清掃（PMTC：Professional Mechanical Tooth Cleaning）」といいます。日々の磨き残しや落としきれない歯垢や歯石を徹底的に除去することで、口腔内の細菌数を大幅に低減することが可能となります。PMTCによる定期的なクリーニングは、口腔の健康を守る重要な役割を果たします。

当院には、4名の歯科衛生士が在籍しており、外来診療のみならず、全身麻酔下における手術の介助、主に入院患者さんに対する専門的口腔ケア、患者さんや家族だけでなく院内職員に対する歯科保健指導等の業務を行っています。院内では、主に初期研修医・専攻医などの職員に対して、口腔と関係する全身疾患、薬剤との関連する口腔内有害事象などについて説明を行うなど、口腔保健指導を行っています（写真3）。参加者からは、「薬剤の副作用について、口腔に関する症状があることを知り口腔内について自分から見



(写真1) 専門的口腔ケア介入前



(写真2) 専門的口腔ケア介入後



(写真3) 院内で講義をする、高橋主任歯科衛生士、深谷副主任歯科衛生士

に感動しました」との感想がありました。

「口腔ケア」とは、口腔の清掃から、噛み合わせや飲み込みの機能の回復、構音や会話障害の改善に至るまで、口腔より全身を考える科学であり技術（参考：日本口腔ケア学会）です。当科においては、科学的な根拠を持った方法で、効果的に行えるよう日々研鑽を積みんでいます。また、当院地域連携登録医や近隣の歯科医院と密な連携を取り、適切な介入を行っています。

Dr 趣味リレー

研修医 井上 裕梨

私の趣味はケーキ屋巡りです。特につくば市には魅力的なケーキ屋さんが多く、休日ごとに新しいお店を訪れるのが楽しみになっています。お気に入りのひとつは「コート・ダジュール」。季節のフルーツを使ったタルトが絶品で、見た目も華やかです。また、「パティスリー・ル・カフェ」では、濃厚なチョコレイトケーキと香り高いコーヒーの組み合わせが最高で、つい長居してしまいます。最近「アミエル」のモンブランに感動し、思わずテイクアウトして家族にもおすそ分けしました。店ごとにコンセプトや雰囲気異なり、小さな旅をしているような気分になります。甘いものに癒されながら、街の魅力を再発見できるのもケーキ屋巡りの醍醐味です。次の週末はどこへ行こうか、今からワクワクしています。

## 春秋園だより

今回は入所二階母の日のイベントの写真撮影と、その写真のプレゼント。梅雨にまつわる入所者様のお話二点をご紹介します。

まず一つ目の母の日で、赤いカーネーションを片手に持っていただき、笑顔で写真の撮影をさせていただきました。赤を基調にしたイラストや、リボンでデザインした写真付きフレームを、ご本人様にお渡しして、恥ずかしながらも受け取って喜んでいただきました。ちなみに赤いカーネーションの花言葉は、「母への愛」「真実の愛」「情熱」等の意味があるそうです。特に



母の日に送る赤いカーネーションは「母への愛」を表す最も直接的な花言葉を持っています。

そして二つ目の梅雨について、ご入所様から大変面白いお話を頂戴致しましたのでご紹介致します。

「梅雨(ばいう)」という言葉はね。中国からきた言葉なの。梅の実が熟す時期に降る雨という意味で、もともとはカビと書いて黴雨(ばいう)って読むの。けど、(黴)はあまり良くない言葉だから、(梅)の字を使うようになったのよ。」と。

「昔の日本人は、梅雨時期の湿気対策として和傘や蚊帳を使っていたね。和傘は雨を防ぐだけでなく、湿度の高い時期には涼しい風を通す効果もあったのよ。」

そして、笑いながら楽し気に話を続けてくれました。  
「それとね、蚊帳は虫除けに良いの。私は虫が嫌いだから。」  
梅雨の季節が少しでも楽しくなるような情報でした。

(春秋園入所二階スタッフ一同)

## 部署紹介

### C4階病棟

師長 岩淵 朋子

C4階病棟は、脳神経外科、泌尿器科、整形外科を主とする病床数42床の病棟です。

急性期治療の中でも外科的治療(手術)を要する患者さんが多く入院されています。術前術後の看護はとても重要であり、早期離床、早期退院を目指し、日々自立に向けた生活の援助を行っております。脳神経、整形、泌尿器それぞれの疾患で入院される患者さんは疼痛や麻痺、骨折による運動制限により日常生活に制限が生じております。その為、私達は患者さんの苦痛や不安が少しでも軽減するよう、安全安楽に過ごせるよう努めております。また、脳卒中による障害、整形疾患での安静制限により食事摂取に問題が生じるケースもあります。当病棟には摂食・嚥下障害認定看護師が在籍しており、患者さんの口腔ケア、食事支援の充実にも努めております。

患者さんの社会復帰、退院がスムーズ、かつ、希望に沿ったものであるよう、医師、リハビリスタッフ、入退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー等の様々な職種と密に連携を図りながら支援を行い、患者さんの個性に合わせた看護を提供できるような心がけております。

患者さんの力を信じ、諦めず、笑顔を絶やさずことなく、持ち前のチームワークで今日も頑張っております。

## 入職者

- ①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学  
④趣味 ⑤生年月日 血液型 星座



6/1付入職  
初期研修医  
中村 夕樹

- ③東京女子医科大学出身、筑波大学附属病院初期研修 ④飼っている犬と一緒に出かけること。最近だとひたち海浜公園、つくば牡丹園に行きました！  
⑤1997年7月16日 27才 A型 蟹座

6月16日付

### ■救急救命士科

救急救命士

河津 安結光

一日も早く患者様や救急救命士に役立つ様、貢献できるよう、一生懸命励んで参ります。

### ■人事課

事務

行方 楓

医療スタッフの方々をはじめ、少しでも早く皆様の一助となれるよう日々精進して参ります。

事務

小林 直子

縁あってお世話になる事が大変嬉しいです。末永く毎日元気で楽しく勤務出来る様心がけます。

### ■経理課

事務

川瀬 百香

事務という面から病院を支え、貢献できるように日々努めてまいります。

# ショップ&カフェ



テラス ショップ&カフェ (売店)  
レストラン事業部牛久 課長  
池田 恵美

テラス ショップ&カフェより商品のご案内です。  
種類豊富な当店自慢の手作りパンと本格イタリアンコーヒーや  
濃厚なカフェラテが楽しめるベーカリーカフェ。  
フランス伝統の焼き菓子は自慢の商品となっております。  
是非ご賞味ください。



## 編集だより

私たちの部署にも新しい仲間が入りました。  
何もかもが初めての環境の中で、一日でも早く溶け込み吸収しようとする姿勢からは、初々しさを感じるとともに初心に立ち返ることの大切さを学んでいます。(T・S)

また、大人気の手作り弁当  
生活必需品から介護用品や  
食料品まで数多くの商品を取り扱っております。  
お客様にご満足頂けるお店づくりに  
努めさせていただきます。  
スタッフ一同心より  
ご来店お待ちしております。



## 病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最善の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

## 病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床  
地域包括ケア43床)

## 施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



## 診療科目

### 【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

### 【専門外来】

循環器疾患専門外来、ペースメーカー専門外来、不整脈外来、肝疾患専門外来、糖尿病専門外来、甲状腺専門外来、血液専門外来、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)専門外来、リウマチ専門外来、関節専門外来(股・膝)、脊椎外来・足部外来、スポーツ外来、乳腺専門外来、小児神経外来、発達障害(自閉症・学習障害等)専門外来、小児心理外来、小児科免疫外来、小児科循環器外来、口腔機能外来、皮膚科レーザー外来、内視鏡科、心臓血管外科、そけいヘルニア外来、下肢静脈瘤外来、再建外来、女性泌尿器科外来

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



# 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

## 《関連施設》

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター           | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス   | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター           |                  |
| 読影センター             |                  |
| 地域リハ・ステーション        |                  |
| 介護老人保健施設 春秋園       | Tel 029-870-3100 |
| ひたち野ステーションクリニック    | Tel 029-896-6200 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

